

〔会報 春陽会から文展審査員を出す〕

美術館へ借館申入れましたから御承知おき下さい。

昭和十三年九月十五日

春陽会 (印)

会報

○春陽会から文展へ審査員を出すことについて

新聞で御承知のことと存じますが、ほぼその報道のやふな順序で、会から中川一政、木村荘八の二名が本年度の文展の審査に加はることとなりました。これは予々<sup>(かねがね)</sup>春陽会の主張し提案した、官設展施行試案(オリムピックス案)に近づいたことであり、文部省の所謂、非常時文展への声明に賛意を表したに他なりません。

然しその決定が甚だ急で、春陽会の全面的参加には準備もありませんから、九月十日会員会友会協議の結果、急いで歩調を乱すよりは、会員会友は出品を見合せた方が良好だらうと云ふことに話し合ひました。

右会報致します。

○猶末年度春陽会展覧会は本年と同じ期間を、

——自四月二日 至四月二十八日——